

平成20年2月15日

伊賀市長 今岡 睦之様

住 所 伊賀市猪田1359-3  
 氏 名 猪田地区住民自治協議会  
 代表者 山 寄 義 昭 ⑩  
 連絡先（電話）21-3533

〔法人にあっては、主たる事務所の  
 所在地、名称及び代表者の氏名〕

伊賀市地域活動支援事業審査申込申請書

申込年月日	H. 20. 2. 15	受付番号	
活動支援	住民自治協議 会活動支援	市 活	ア課題・研究部門
		民 動	イ市民公益活動部門 1・2・3 回目
		公 支	ウ伊賀市提案部門 課題・研究 市民公益活動
団体の名称	(フリガナ) イダチク ジュウミンジチキョウカイ		
	猪田地区住民自治協議会		
団体の所在地	〒518-0123		
	伊賀市猪田 1359-3 TEL 0595(21)3533 FAX 0595(21)3533		
代表者	(フリガナ) ヤマサキ ヨシアキ		
	氏名		
	山 寄 義 昭		
	住所 〒518-0127 伊賀市山出 712 TEL 0595(23)1482 FAX ( )		
連絡先 (連絡責任者)	(フリガナ) イダチクシンセンター		
	氏名		
	猪田地区市民センター		
	住所 〒518-0123 伊賀市猪田 1359-3 TEL 0595(21)3533 FAX 0595(21)3533		
	Eメールアドレス ida-c11@ict.ne.jp		
※団体設立年月日			

<p>※設立目的</p>	
<p>※活動実績</p>	
<p>※構成員(会員)数</p>	
<p>事業の名称</p>	<p>猪田地区全域のマップ</p>
<p>事業の趣旨</p>	<p>最近の防災対策を考えるに、猪田地区内における防災環境を地区住民に知らしめる手段はなかった。ここに、防災環境状況を各区からまとめ、併せ、史跡や公共施設も附記して、マップに集約し、地区住民に徹底を図る。</p>
<p>事業の内容</p>	<p>猪田地区の自然環境と防災、史跡、公共施設をマップ上に記し、住民に知らしめると共に、地区状況や歴史を学び、災害に対する備えと猪田地区の歴史に対する誇りを植えつける。</p> <p>マップ・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 史跡・文化財・公共施設</li> <li>2 防災関係 <ul style="list-style-type: none"> <li>●各区の避難場所</li> <li>●消火栓、防火水槽 等</li> </ul> </li> <li>3 その他地域環境</li> </ul> <p>上記マップは 1900×1250mである。縮小版(A3)を各戸配布を行い主旨の徹底を図る。</p> <p>★活動内容</p> <p>上記の主旨に添い、教育・文化部、生活安全部、環境・防災部がそれぞれの立場から、猪田地区内を掘り起こしマップに掲載できるかを</p>

検討する。この場合、各部員の意見は勿論、地区民の意見の吸い上げ、アンケートを行うことにより内容の充実を図り活用する。

勿論各部員は、自分達の持ち場だけでなく、各部間連携を密にすることにより、それぞれの思いを理解して協力をを行うのである。

また、直接関係しない部会へも、適宜報告を行い意見を出し合う。そして、猪田住民自治会報も充分利用しながら地区民に啓発し、必要に応じて意見や協力をしていただくものとする。

活動内容を各部毎に上げると、

#### ●教育文化部

史跡・文化財・公共施設を担当し、猪田地内にある史跡・文化財を掘り起こし、過去の歴史を再認識させ猪田地内の誇りある歴史と良さを植えつけるのが目的である。そのことが底辺から支える猪田の町づくり、“住んでいてよかった、豊かな猪田づくり”を作るのである。

毎年、猪田小フェスティバルの発表会が行われている。その発表会で、猪田地区内の自然・歴史・名人・企業等の探検が行われ、猪田地区内で沢山の良さや立派さ、誇りが持てる内容が報告されていた。勿論、学年に応じた内容と発表であるが、我々猪田で育った大人でも、再発見する内容が報告された。

このような発表会の事前学習として、何か役に立つマップがあれば子どもたちもより興味が沸くのではないかと考える。

部員も、子どもに返り猪田の良さを掘り起こす活動を行いたい。

#### ●生活安全部

猪田地区内で生活するには、何が安全かを掘り起こす手段としてアンケートを実施し、現在2年目を向かえる小学生の防犯ネットワークの充実を図りながら、日常の安全について検討・研究を進めていきたい。例えば、猪田地区内の交通網として、国道368号線の拡幅が始まっている。また、県道山出依那具線が通っている。交通量の増える中、交通安全をどのように対処すれば、年寄りや子どもの安全が守られるかを検討していきたい。また、猪田地区内には、溜池が沢山点在している。防災や農業用水には必要だが、反面危険もはらんでいる。

危険と付き合う生活はどのようなものかを考え、マップ上に挙げられる内容を検討していきたい。

#### ●環境防災部

防災に関する内容の検討で、各区の避難場所や消火栓や防火水槽がどこにあるかを調べ、マップ上に起こす。

環境面では、生活環境だけでなく自然環境面も取り上げていきたい。例えば、先の猪田小フェスティバルの発表会で、自然と環境と題して行われたものがあるが、猪田地区内は農業集落排水事業が整備され、水路や川には昔の自然がよみがえってきた。よみがえった生物や綺麗になった水を見て、自然の大切さを報告していた。この場所には、蛍

が沢山見られる。この川には、小魚が沢山生息している。小鳥も沢山生息している。

大人達にも昔を思い起こす一幕である。これらをマップにどのように掲載できるかを研究課題として活動していき、子どもたちに負けないマップにしていく。

以上、各部の活動研究がそれぞれでなく連携してまとめ上げ、マップ上に掲載する内容を十分吟味して行く必要を見いだす。

大人だけの使えるマップではなく、未来を担う子どもに充分学習として扱える内容を盛り込むことを研究していくことが大切であると考ええる。

年 次 計 画	4月	第1回史跡・文化財・公共施設の調査・研究・検討（教育文化部会） 第1回交通網調査・検討（生活安全部会） 第1回消火栓・防火水槽・避難場所の調査・検討（環境防災部会）
	5月	第2回史跡・文化財・公共施設の調査・研究・検討（教育文化部会） 第2回交通網調査・検討（生活安全部会） 第2回消火栓・防火水槽・避難場所の調査・検討（環境防災部会）
	6月	第3回史跡・文化財・公共施設の調査・研究・検討（教育文化部会） 第3回交通網調査・検討（生活安全部会） 第3回消火栓・防火水槽・避難場所の調査・検討（環境防災部会）
	7月	地区民にアンケートの実施（広報部会）
	8月	アンケートの集約（広報部会） 調査結果の下図づくり（第1回） 調査結果の下図づくり（第2回）
	9月	調査結果の下図づくり（第3回） 各調査の最終打合せ（共同部会）
	10月	下図作成完了 第1回原図の作成（運営委員会） 第2回原図の作成（運営委員会）
	11月	業者との打合せ、発注（運営委員会）
	12月	
	1月	設置完了
	2月	
	3月	

※印欄については、住民自治協議会活動支援申込団体は記入不要。

必要経費

(単位 円)

科 目	金 額	内 訳
掲示板一式	350,000	1900×1250mm のアクリル板 焼き付け印刷
搬入・基礎工事・設置 工事一式	65,000	ステンレス製 屋根付き地面埋め込み
地図デザイン製作	95,000	マップ
諸経費	22,500	
消費税	26,600	
A3 マップ	80,000	各戸配布用 800 枚印刷カラー版
マップ準備費用	40,000	プリンターインク・下図用用紙他
合 計	<sup>A</sup> 679,100 円	

自己資金

名 目	金 額	内 訳
A3 マップ	80,000	各戸配布用 800 枚印刷カラー版
マップ準備費用	40,000	プリンターインク・下図用用紙他
自己資金	59,100	補助金オーバー分
合 計	<sup>B</sup> 179,100 円	

補 助 金 要 望 額

住民自治協議会活動支援 $A \times 0.9$ の金額以下かつ 50 万円以内		500,000 円  (千円未満切り捨て)
市民公益活動支援	【課題研究部門】 A の金額以下かつ 10 万円以内 【市民公益活動部門】 $A \times 2/3$ の金額以下かつ 30 万円以内 【伊賀市提案部門】 上記課題研究、市民公益活動に同じ	

<p>期待される具体的な効果・成果</p>	<p>自然災害(地震等)が発生した場合、①どのようにして高齢者や子どもが避難すればよいのか。②避難場所での緊急生活の対策が考えられるのか。③怪我人に対する対策がとれるのか。④以上のような事を地区民全員が考えて行動できるか。</p> <p>このことを気づかせることが目的である。また、住民の意識に災害マップ情報を認識させる事は、災害時に何らかの行動に役立つと期待する。</p> <p>そのために、教育文化部、生活安全部、環境防災部が、協力して地区住民が災害時に一目見て避難できるように、それぞれの関係する内容を検討する。また、教育文化部と生活安全部では、子どもを中心に地区内の安全な場所、史跡・文化財や歴史について家庭と学校で考える一端を担わせ、地区の歴史に誇りを持つ意識と日常安全に過ごせるための心構えを意識させられる。これらを十分検討してマップ原図の制作にあたる。</p> <p>また、地区民にどのような内容が認識されやすいかのアンケートをとり集約して活かす。</p> <p>このことは、部員や役員たちの活躍が地域全域に波及するものと期待する。</p> <p>マップの正確さや工事の安全を考えるために取り付けを専門家に託す。</p> <p>縮小版(A3)を各戸に配布を行い主旨の徹底を図る。防災マップの活用については、各区での防災の訓練や講演で用い、防災の意味を理解してもらう。</p>
<p>活動のアピール</p>	<p>上記主旨を住民自治協議会広報紙で活動内容と進捗状況を知らせ、出来上がりに期待を持たせる。また、活用方法も詳細に知らしめ、認識を新たにさせ、意識の高揚に役立たせる。</p> <p>防災や史跡・文化財の内容を子供たちにも充分認識させる必要があるために、児童福祉会や猪田小学校を通じて十分説明して活用させる。</p>
<p>※次年度以降の活動内容の概要 (来年度以降も本事業に応募を希望する場合に記入)</p>	<p>第2回目</p> <hr/> <p>第3回目</p>

※印欄については、住民自治協議会活動支援申込団体は記入不要。

伊賀市地域活動支援事業補助金交付申請書

平成 20 年 4 月 15 日

伊賀市長 今岡 睦之 様

住 所 伊賀市猪田1359-3  
氏 名 猪田地区住民自治協議会 ㊤  
会 長 廣岡 俊昭  
連絡先(電話) 21-3533

〔法人にあつては、主たる事務所の  
所在地、名称及び代表者の氏名〕

平成20年4月1日付け 第 1 号で審査決定を受けました事業を実施したいので、補助金を交付されたく伊賀市地域活動支援事業補助金交付要綱第9条の規定により、下記のとおり申請します。

記

- 1 補助金交付申請額 金 500,000 円
- 2 活動の目的 猪田地区内の、防災・史跡・公共施設等をマップに集約し、地区内の歴史に対する誇りと、災害に対する備えを理解させる。
- 3 活動の内容 活動目的に添い、教育・文化部会、生活安全部会、環境・防災部会がそれぞれの立場から、目的内容を掘り起こし、マップに掲載出来る様検討し、地区民の意見が出来るだけ多く反映できるようアンケートを行い内容の充実を図る。
- 4 活動の実施計画 別紙計画表の通り。
- 5 活動の完了予定年月日 平成21年1月予定
- 6 関係書類  
伊賀市地域活動支援事業補助金収支予算書

様式第 13 号 (第 14 条関係)

伊賀市地域活動支援事業補助金自己評価報告書

団 体 名	猪田地区住民自治協議会
事 業 名	猪田地区全域マップ
自 己 評 価 欄 (該当する選択肢に○をつけてください)	
1	事業を行った結果、期待していた効果が上がりましたか。
	⑦ 期待した以上の効果が上がった
	イ 期待した効果が上がった
	ウ あまり効果が上がらなかった
	エ ほとんど効果が上がらなかった
2	(設問 1 で、ウ・エと答えた場合のみ) その理由をご記入ください。
3	今後、事業を実施する上で、改善すべき課題はありましたか。
	⑦ あった
	イ なかった
4	その課題をご記入ください。
単発的な発想に終始した感じがした。	
5	(設問 3 で、アと答えた場合のみ) 課題に対する具体的な対処方法があればご記入ください。
広範囲に捉え、発展的に事業を推進して行きたい。	
6	予算は、当初の予定どおりに執行できましたか。
	⑦ ほぼ予定どおりに執行した
	イ 多少の変更があった
	ウ 大きな変更を余儀なくされた
7	(設問 6 で、イ・ウと答えた場合のみ) 変更せざるを得なかった理由をご記入ください。
8	その他、自己評価すべき点をご記入ください。
活動部員の活発なる活動であったが、次年度への繋がり意識が希薄に感じられた。過疎化進行の兆しが表明化してきた。	

平成 2 0 年度地域活動支援事業成果報告書

事業名	猪田地区全域マップ
団体名	猪田地区住民自治協議会
事業の目的	猪田地区内の、防災・史跡・公共施設等をマップに集約し、地区内の歴史に対する誇りと、災害に対する備えを理解させる。
事業の内容	活動目的に添い、教育・文化部会、生活安全部会、環境・防災部会がそれぞれの立場から、目的内容を掘り起こし、マップに掲載出来る様検討した。また、地区民の意見を出来るだけ多く反映できるようアンケートを行い、集約することでその内容の充実を図り、地図上に記載しマップの見易さ、わかり易さを際立たせた。 また、防災関係では実際の地図上で距離感覚を捉えやすくし、防災の種類別(●消防指定水利等、●土砂災害危険箇所、●浸水想定区域、●土砂災害危険箇所の選定基準 等)を色別しながら、防災意識の重要性を見出せるようにした。
事業の成果	完成したマップを見ることにより、 1) マップの完成は、紙面での出来映えよりも大きい為に迫力を出し、より見易く、分かり易い表示方法であったと考える。 2) 部員達が皆協力して、多くの知識で完成させたことを次世代に引き継ぐことの大切さを見出した。 3) 地区民や子供達への意識の高揚や地区内での教材として、マップが利用される必要性が見出された。 の、三つの成果が得られた。
今後の事業展開	上記の成果からより発展的に捉え、広範囲に繋げていける内容を見出しながら、部員の活発性と地区民の期待感の向上を狙い、より高度の内容へと進めて行きたい。また、地区内でまだ何か不足していることを掘り起こしながら、地区民の意識の高揚を狙いたい。



様式第 12 号 (第 14 条関係)

伊賀市地域活動支援事業補助金収支決算書

団体名 猪田地区住民自治協議会

収入の部

単位：円

科 目	予 算 額	決 算 額	差引増減	摘 要
市交付金	500,000	500,000	0	
自己資金	179,100	168,598	0	
合 計	679,100	668,598	0	

支出の部

単位：円

科 目	予 算 額	決 算 額	差引増減	摘 要
掲示板	350,000	350,000	0	1,900×1,250 のアクリル板・焼付印刷
外枠・工事一式	65,000	65,000	0	屋根付き、ステンレス製
マップ・ 地図デザイン制作	95,000	95,000	0	マップ用
諸経費・消費税	49,100	49,100	0	
チラシ	80,000	80,000	0	A3 チラシ、各戸配布用 800 枚
準備費用	40,000	29,498	10,502	プリンターインク、下図用紙他
合 計	679,100	668,598	10,502	

# 伊賀市地域活動支援事業成果報告 内容 (掲示物用)

## 1. 活動の目的

- ① 防災環境を掘り起こし、各家庭に周知徹底を図る。
- ② 歴史の探索や公共施設等を併記し、地区内に誇りを持たせる。

## 2. 活動の成果・効果

- ①地区内の諸事情を汲まなく調査することで、住民の意識の変革が見られた。
- ②マップを各戸に配布、史跡や文化財、防災意識の高揚が見られた。
- ③住民の知恵の結晶を有効利用することで、危機意識の向上が図れた。

## 3. 実施上の課題

- ①地区への関心や愛着心・防災意識を捉え、マップの正確性の向上のために理解・協力を工夫した。
- ③ 交通安全状況がマップ上に反映出来なかった。
- ④ 自然・生活環境（水質等）から、生物の生態状況を捉えられなかった。
- ⑤ 過去の保存資料の不足で、資料の収集と掲載内容の再検討がされた。
- ⑥ 地区に親しみや誇りを持てる形式・表現・表示方法に苦慮した。

## 4. 課題への対応

- ① 全戸対象のアンケート調査実施。
- ② 実施調査と関係機関への聞き取り調査結果を生かす。
- ③地区内の交通安全活動を更に充実・推進する。
- ④広報誌で地区内の良さをアピールして、地区内の発展をめざす。
- ⑤親しみ易いイラストマップで内容の充実を見せる。

## 5. 今後の活動の展望 等

- ① 情報と平面計画がハード面にどのように作用するかが課題。
- ② 防災環境状況から実質的ハード面を捉えたい。
- ③ 自然の生態系を調査して、自然公園を設けたい。
- ④ 史跡・歴史マップから巡回・散策マップ、歴史街道の掘り起こしを考えたい。

# 猪田地区全域のマップ

猪田地区住民自治協議会

## 猪田地区全域マップ完成!

### 1 目的

- ◆ 防災環境を掘りおこし、各家庭への周知徹底を図る。
- ◆ 史跡や公共施設等を併記し、地区に誇りをもてるようにする。



### 2 活動の成果



市民センター前に立派なマップ掲示板ができたので、猪田に  
いっそう愛着や誇りを感じる。



マップの全戸配布によって、史跡  
や文化財・防災への意識が高まった。



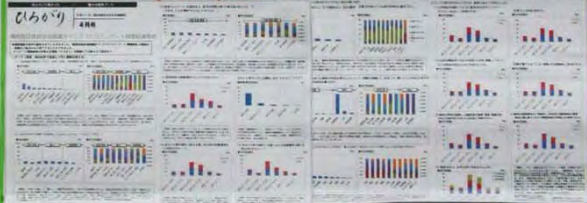
できたマップは、住民の知恵の結晶。  
共有し、利用することで、危機対応  
に活用できる。

### 3 実施上の課題

- 地区への関心・危険箇所等の実態把握と、マップの正確性を高めるための方策。
- 交通安全状況および自然・生活環境をふまえた生物の生態状況の把握とマップへの反映。
- マップ掲載資料の収集と選択
- 親しみ易く、農村らしいマップの形式・表示方法。

### 4 課題への対応

- アンケート調査の実施(全戸対象)



- 反映できなかった。今後調査結果等を生かす活動を推進したい。

- 地区内に保存資料なく、関係機関での資料収集・現地調査・部会検討を重ねた。

- マップに、イラストや写真を取り入れた。

### 5 今後の活動展望

- 防災環境状況のハード面での活用。
- 広報活動による地区の活性化。
- 生態系調査と、自然公園の設置。
- 地区内史跡等の掘りおこしと資料保存。

新調の掲示板に貼られたマップ。

